

光輝く轟の芽

V: Vision & M: Method & W: Work Hard

千葉市立轟町中学校
学校だより第10号
令和7年2月4日

子供に真実の愛を注いでいますか？

校長 甲斐 安弘

子供に関する事件が後を絶ちません。「いじめ」「虐待」「体罰」「性被害」などの子供が起すこと、子供が被害に遭うこと多く散見されます。目の前の子供が幸せに過ごしているか、明るい未来（将来）を見据えているかなど、社会全体で考えながら子育てを進めていかなければならない時代だと思えます。子育てでは、自己肯定感・自己有用感を高めることが大切です。そのためには、子供に愛情いっぱいに接することです。この上もなく大切なものとして、溢れるような愛を子供に注ぐことです。親や家族をはじめ、地域の方々・学校の教職員が子供に向けて、しっかり真実の愛を注ぐことです。「そんなの当たり前のこと、言われなくても愛を注いでいるよ」という声が聞こえてきそうですが、その愛が子供の心にしっかりと届いているでしょうか。その愛が子供の将来を見据えているでしょうか。その愛が子供の個性を尊重しているでしょうか。愛するということは、心と心がしっかりとつながることです。うれしいときに共感してもらえると思いやりの心が育ちます。困ったときにそっと手を差し伸べてもらえると優しい心が育ちます。子供は、受け入れられている・認められていると感じとれると安心感いっぱいになります。「愛されている」と受けとめられるから頑張れます。人を信じられるということの子供の頃に体得することで自己肯定感・自己有用感が高まっていきます。自分が好きになり、自分のよさに気づき、身の回りの人のために尽くそうという気持ちになっていきます。愛情を注がれて育った子供は、将来自分の子供をもったときに、愛する子育てをするようになるのです。思春期の特徴が強く出る中学生は、関わりの難しい年頃だとは思いますが、子育てに後悔しないためにも、ときどき子供への接し方を振り返ることも大切です。親がわが子と密に過ごせるのは、時間にして計数年間程度です。限られた時間を有効に活用したいものです。

◆職場体験報告会

2学年は、1月10日（金）に10月に実施した職場体験学習の報告会を1学年を招待して行いました。それぞれの事業所ごとに、職場の仕事や体験した内容をスライドショーにまとめ報告しました。どのグループもわかりやすい報告を行い、1学年の生徒も来年度に向けての見通しをもつことができた大変有意義な時間となりました。



◆千葉市小・中・特別支援学校児童生徒作品総合展覧会

第67回千葉市小・中・特別支援学校児童生徒作品総合展覧会が千葉市美術館で開催されました。本校より出品した作品の中から、推奨をいただいた作品を掲載します。

〔美術〕

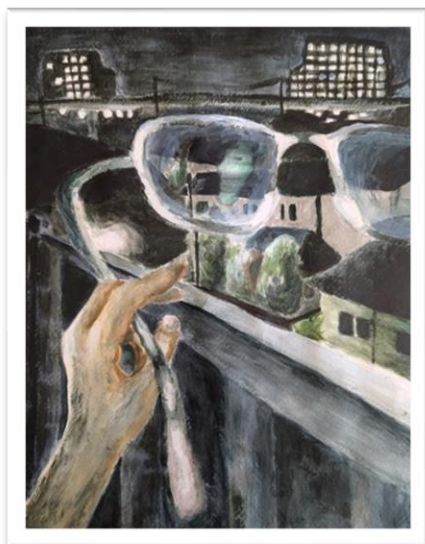


推奨 3年 絵画
題名「あこがれの道」

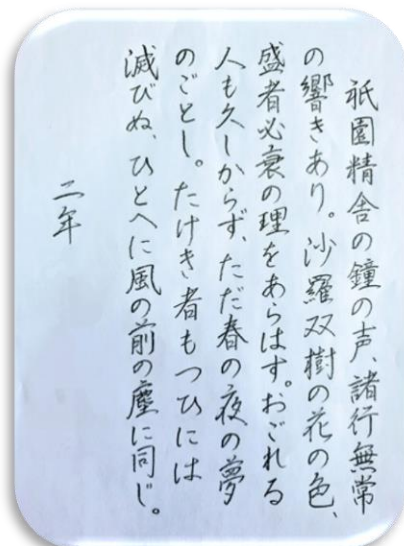


推奨 1年 立体
題名 花器「自然」

〔書写〕



推奨 2年 絵画
題名「レンズ越しの夜景」



推奨 2年 硬筆
題名「平家物語」

<2月行事予定>

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	土		15	土	
2	日		16	日	避難所運営委員会
3	月		17	月	
4	火	新入生保護者説明会 公立高校出願	18	火	公立高校入試①
5	水	1・2年定期テスト	19	水	公立高校入試② 市立養護学校入試
6	木	1・2年定期テスト	20	木	職員会議
7	金	E組合同予餞会	21	金	P T A理事会
8	土		22	土	
9	日		23	日	天皇誕生日
10	月	評議会	24	月	振替休日
11	火	建国記念の日	25	火	給食費等口座振替日
12	水	中学校ガイダンス 2年スポーツ障害講座	26	水	
13	木		27	木	学校保健委員会
14	金		28	金	3年生を送る会 学校評議員会

※引き続き、手洗い・うがいをこまめに行い、体調管理に気を付けてください。